

雄叫び	2011年	JR東海労働組合新幹線関西地方本部
	6月21日	名古屋車両所分会
	第88号	発行者 田川 裕之 編集者 教宣部

あれ？ 6月勤務指定表「原本」に、仕業B担当がないぞ！！

5月25日の夕方、6月分の勤務指定表が庁舎2階詰所に掲出されました。しかし、その勤務指定表には、6月12日（日）の仕業検査A担当2名と仕業C担当の1名は記載されていましたが、どこを探しても仕業B担当が記載されていなかったのです。そして、勤務作成担当助役による個人用のレターケースに入れられていたA組合員の個人別勤務表の12日に「B」の文字、Bユニオン組合員には「A」の文字が印刷されていたのです。この個人別勤務表の各日付の欄には、担当助役による赤鉛筆で「確認チェックマーク」が打たれていました。明らかに勤務作成担当の北川助役と牧野助役、さらに最終確認して勤務指定表の右最上段に個人名の印鑑を付いた山本首席助役のミスです。そのことに気付いた管理者は、密かにBユニオン組合員に「B」の文字が印刷されていた勤務変更通知書を渡しているのです。そのことを何も知らされていない牧野助役は分会の抗議に驚き、A組合員に「A」の文字の入った6月12日付けの勤務変更通知書を6月19日（日）の朝に渡しているのです。

以前にも、「原本」と「個別」と違う勤務が発表されているぞ！！

またC組合員の場合は、3月25日に発表された4月勤務指定表の4日（月）の欄には、仕業検査「A」の文字が記載され、今まで見習いをした事の無い担当の「F」の文字が個人別勤務表に記載されているのを認め、担当助役の北川助役と牧野助役に抗議したところ勤務作成ミスを認めました。

しかし、杉本計画助役は、

- ・ 庁舎2階詰所に掲出された勤務指定表が「原本」である。
- ・ 「原本」の右最上部には、「山本首席助役の印鑑」があり、印鑑の無いものは勤務表ではない。
- ・ レターケース内の個人別勤務表は、会社が便宜上作成して配布しているもので社員に対する配慮である。
- ・ 「原本」が中心であり、各個人が勤務を「原本」で確認することが必要である。
- ・ 大阪では、チョクチョク発生している。

そして、赤鉛筆による「確認チェックマーク」は、「何の為のものですか」の問いに対して、何ら回答することは無く、管理者のミスをミスとして認めず開き直ったのです。さらに分会が調べを進めていくと、6月22日（水）の勤務指定表には「A」担当で個人別の勤務表「C」担当と担当が明らかに違うD組合員が現れてきました。 【裏面に続く】

しかし、大阪仕業検査車両所や大阪修繕車両所では名古屋車両所と大きく違い、個人別のものについては、平成〇〇年〇月勤務参考と記され、注意として1. 本勤務参考は勤務指定表ではない。2. 本勤務参考は必ず各自が勤務指定表と照らし合わせ間違いのないことを確認すること。3. 本勤務参考は1人1枚、1回限りで再発行はしない。4. 勤務に変更等が生じた場合も3と同様である。5. 本勤務参考のコピーを禁止する。と注意事項が記載されています。

何ら、勤務指定表の説明をしていない現場管理者を許すな！

名古屋車両所においては、大阪仕業検査車両所や大阪修繕車両所より2～3ヶ月遅れて、現在は庁舎2階詰所掲示板に毎月25日に勤務指定表が掲示され、個人用のレターケースには個人別勤務表が配布されるようになりました。しかし、管理者からは「庁舎2階詰所の掲示板の勤務指定表はコピーを禁止する」と通知した以外には、勤務指定表に関する説明も無ければ、大阪仕業検査車両所や大阪修繕車両所のような個人別の勤務表に注意事項は何も記載されず、ただ勤務作成担当助役による赤鉛筆による「確認チェックマーク」が打たれているだけです。

多くの現場社員からは、

- ・赤鉛筆による「確認チェックマーク」が打たれているくらいだから、個人別の勤務表が当然にも「原本」と考えていた。
- ・これまで、個人別の勤務表を確認して出勤や休んでいた。まして庁舎2階詰所の勤務指定表にも間違いがあると、それで勤務錯誤が発生したら誰の責任だ。
- ・個人別の勤務表が「原本」ではないとなると、管理者による赤鉛筆の「確認チェックマーク」は、何の為のものなのか。
- ・今まで俺たちに、管理者は勤務指定表に関する説明すらしないが職務怠慢だ。
- ・俺たち現場がミスをする、重箱をひっくり返したように大騒ぎするが、管理者は超過勤務手当を付け忘れて、自分たち管理者のミスには寛大で大変に甘い。これがJR東海会社の体質だ。
- ・日頃の始業点呼で、「関西支社内で勤務錯誤による遅刻が、今月に入り〇〇件発生しています」と管理者は言うが、この勤務指定表の誤発表は勤務錯誤の以前の問題だ。
- ・名古屋車両所の勤務指定表ができ上がった段階で、関西支社へ勤務指定表を送っていると聞いているが、関西支社は各職場の勤務指定表を確認していないのか。
- ・いままでの、この種の勤務変更通知をいっぱい持っている。

などなど、まだまだ多くの怒りの声が現場の社員からは沸き上がってきています。

そして、「**管理者のミスをミスとして認め、現場の社員に説明会を開催して、関係者には謝罪しろ！！**」と以上が、管理者のミスに対する不信感と管理者の対応の悪さに、現場社員から怒りの声です。